



踏ん張ってます
まちの顔

砂風呂と同じ要領で体を埋めた男性客。桜色に染まった顔から、ぼつり、ぼつりと汗が噴き出す。新陳代謝を促すのは発酵したスギやヒノキのおがくずを敷き詰めた酵素風呂。 「湯と違い、おがくずは肌に密着せず全身から発汗する」。接客する沖山さんの額からも汗がしたたる。

発酵熱は七〇度弱。「腰痛や冷え性の人に入って

酵素風呂「雅」(東広島市福富町) 経営者 沖山勝美さん(38)

全身発汗健康届ける

ほしい」と勧めるように、生き物の酵母から酵素の水分や酵素の量などを体の奥から温まる。酵母をつくり、手塩に掛けて微妙に調整している」。は店周りで採ったヨモギを熟成させる。適温に保つスコップで風呂を混ぜるやドクダミなどの薬草かためにはノウハウが必要。手は、まめだらけだ。は、はちみつを使って抽で「天候によって、おがくずを混ぜる回数、加えらの肌身で感じている。



「ストレス社会で息を抜く場にしてほしい」と話す沖山さん

「日々の生活とは違った時間を、ゆったりと過ごしてほしい」と沖山さん。料金は二千円。三十分が入浴の目安という。

(治徳貴子)

二十歳の時、交通事故で右腕が不自由になった。いろんな治療を試したが、鈍痛は消えなかった。二〇〇五年冬、東広島市福富町の既存店で、入浴して驚いた。「腕の痛みがひいて楽になった」。経営者に頼み込んで修業。〇七年八月、自分の店を構えた。緑豊かな山あい、紺の大きなのれんを掲げた木造の平屋店舗。備え付けの浴衣で入れる気遣いから幅広い年齢層の女性に人気だ。この夏からは入浴後に、喫茶でコーヒーも出す。